

# 飯豊連峰保全連絡会 ニュースレター

(このニュースレターは飯豊連峰保全連絡会会員各位と合同保全作業に参加頂いた皆様にお送りしています)

## ■合同保全作業の報告について

平成 20 年 8 月 29 日 (金) から 9 月 1 日 (月) にかけて、飯豊連峰の天狗ノ庭で、平成 20 年度の合同保全作業が行われました。

今回の作業箇所は、天狗ノ庭の荒廃を危惧すること等を理由に、今年 6 月 26 日の飯豊連峰保全連絡会議第 1 回会合で決定されたものです。

作業行程の概要としては以下のとおりです。

8 月 29 日、天狗平ロッジに集合し、梶川尾根～梅花皮小屋まで番線、剣スコップ等資材の荷上げを行いました。梅花皮小屋に到着後、緑化ネットの固定に使用するペグを番線から加工しました。

8 月 30 日、前日に荷上げた資材に加え、事前に荷上げしていた緑化ネット 25 巻、土のう袋 150 袋を作業箇所である天狗ノ庭に運搬しました (うちネット 5 巻は事前に天狗ノ庭まで運搬していました)。また資材運搬とあわせて、梅花皮小屋から天狗ノ庭までの移動時に、許可を得たイネ科等の種子採取を行いました。なお、移動区間では未熟な種子が多かったため、天狗ノ庭周辺でも午前中にヒメスゲ等を中心に結実種子を採取しました。

30 日午後からの作業は以下のとおりです。

- ・平成 19 年度実証試験で施工した緑化ネットの一部が剥がれていたため、張り直しました。
- ・植生復元する箇所は、転石を取り除き、採取した種子を蒔き、緑化ネットを被せ、番線を打ち込んで地面に縫いつけ、さらに重しと微地形効果を期待して転石を置きました。ポイントとしては土砂流下を防止するため上流側より順に、また弛みを保たせて敷きました。
- ・流水コントロールとして、雨裂による溝になっている箇所に、土砂を堆積させて安定させるための、石組みや土のう袋による土留めを設置しました。ポイントとしては土留め中央部から水が流出するように中央部が低くなるようにしました。



作業前に種子の採取



種まきと緑化ネット敷き